



## 大成功のビッグ遊び「逃走中」

### 自分たちで決める！理由があります！

2回の延期を経て2月8日（水）昼休みに、ビッグ遊び「逃走中」を行うことができました。

大人サイドは、少し気温の上がる3月を提案したのですが、企画したほかほかほっかめ委員は「もしも、3月にコロナや雨だと、できないまま終わってしまうから、寒くても2月にやりたいです。」との申し出がありました。大人サイドも再検討し、「低温注意報の発令がなければ2月に実施」と決定しました。

ほかほかほっかめ委員たちの、大人任せでない自分ごと感を頼もしく思いました。

※ほかほかほっかめ委員は生徒会役員みたいな委員会です。



### 3つのミッションに協力の姿がありました！

ハンターにつかまった子どもたちも、他のみんながミッションに成功すると再び逃げることができるルールです。この日用意された3つのミッションはすべてクリアできました。中でも、2つ目のミッションは、制限時間内に学年ごとに集まるというものでした。運動場とあいさつ広場に別れて集ま

っていた2年生も、声をかけてもらい無事に合流。左の写真は3年生の様子です。

最後は、先生ハンターも放出され、子どもたちもお疲れモードでしたが、それ以上に、ハンターたちもご覧のとおりです。

2月にしては穏やかな陽気のもと、楽しいひと時を過ごすことができました。ストーリーの設定やルールづくりに始まり、子どもたちへのお知らせや運営の練習など、ほかほかほっかめ委員さんの見えないがんばりのおかげです。

この楽しい遊びも御前崎小のすばらしい伝統の一つです。

その御前崎小学校は150周年を迎えます。



## ボランティアのみなさま、保護者のみなさま、ご協力に感謝します

定期的に来てくださる図書ボランティアをはじめ、今年も多くのボランティアのみなさんに支えられて1年が過ぎようとしています。一輪車名人、クラブの先生、運動場の草刈り、カメの水くみ、カーテンレール取付、ミシンの点検など、さまざまな場面で子どもたちを導き、教職員を支えてくださいました。3月の学年会計監査を快く受けてくださったみなさまも同じです。

ほっかりいっぱいな学校にするためには、そこにいる大人が元気でないと始まりません。児童数減少に伴い、教職員数も減り膨大な業務に対応する本校職員ですが、支えられているという実感に、どれだけ勇気づけられているかわかりません。ご協力に感謝します。

(5年生からの優しい「ほっかり郵便」に励まされた校長 仁平美和子)

